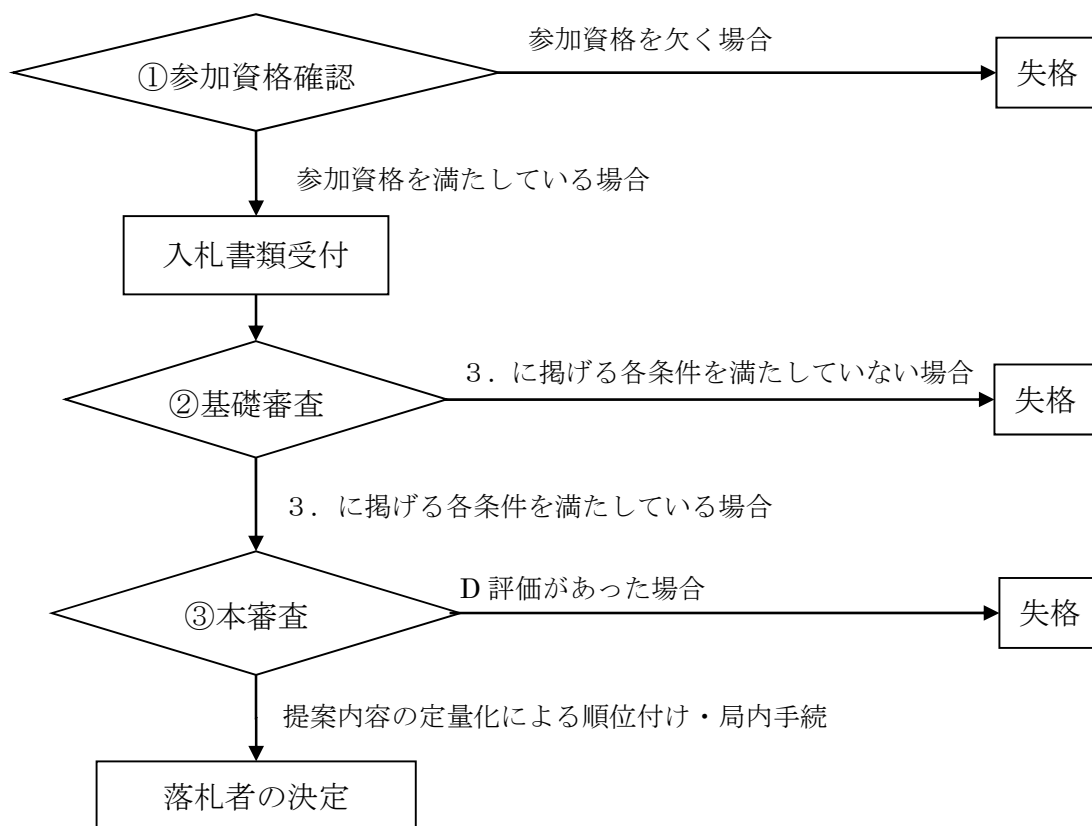


# 金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託

## 評価方法及び落札者決定基準

### 1 落札者の決定の基本的考え方

落札者の決定の基本的な考え方は、次のとおりである。



### 2 入札参加資格確認

入札参加資格は、地方自治法の指名停止措置等を受けていない等の欠格要件および類似施設等に関する運転管理実績等により定める。詳しくは入札説明書第6項を参照。

なお、入札参加者が1社であっても、本書に規定したとおりの手順によって評価・選定を行うものとする。

### 3 基礎審査

入札参加資格を確認された企業は、入札書類を提出する。入札書類の審査は、基礎審査と本審査に分かれる。基礎審査は、以下の審査を行い、全ての条件を満たしている場合に本審査に進めるものとする。

#### (1) 価格審査

提案価格が予定価格を超過していないかの確認を行う。

なお、この事業の公募において応募者がいない場合又は審査の結果によりすべての提案において予定価格を超過する場合には、落札者の決定を行わないことがある。

#### (2) 技術審査

提案が、特記仕様書に定められた条件を全て満たしていることの確認を行う。また、不明点がある場合に内容確認のヒアリングを行うことがある。

### 4 本審査

本審査は、加算方式による評価を行う。

総合評価点は1,100点満点とし、価格に関する配点を500点、業務提案の質に関する配点を600点とする。

点数は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出し、同点者がある場合はくじ引きにより落札者を決定する。

総合評価点 (1,100 点満点) = 価格に関する評価点 (500 点満点) + 質に関する評価点 (600 点満点)

#### (3) 価格審査

以下の計算式により価格に関する評価点を算出する。

A社の価格に関する評価点 (500 点満点) = (最低応札価格) / (A社の応札価格) × 500

#### (4) 提案評価

質に関する評価点は、①に示す評価項目ごとに、②に示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は失格とする。

なお、審査にあたってヒアリングを行うことがある。

①評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	期待する評価内容の例
実施方針	前処理施設の特性を十分に理解しているか。	①本事業に対する理解度・確実な処理	60	前処理施設の性格理解	前処理施設の特性を踏まえた、運転・維持管理における方針
				工場排水の処理実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ	工場排水の処理実績を踏まえた、本事業に必要な能力についての考え方
				利用企業への配慮	市の利用企業に対する説明責任を踏まえた提案
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。	②人員配置	60	適正な人員配置、有資格者の配置、教育研修体制	具体的な人員配置計画（有資格者の配置を含む）や、想定される様々の事象に対応できる体制 従業員の研修・教育の内容
				③マネジメント	70
		会社全体のバックアップ体制	通常時のバックアップ体制		
		引継ぎ時の協力体制	前受託者からの引継ぎ及び次受託者への引継ぎの両方を円滑に行うための考え方、体制等		
		運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。セルフモニタリングは機能するか。	④ 運 転 計 画・薬品等の調達	60
市の工事計画との整合性	市の整備計画と整合した計画				
年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画	定期点検や運営管理業務と整合した運転計画の考え方				
薬品、油脂類、材料等の適正な調達管理、選定基準の考え方	薬品等の調達管理の考え方と具体的な体制、管理方法				
⑤水質・汚泥管理	60			水質や汚泥の適正な管理	流入水・処理水水質や汚泥の測定と、測定結果に応じた対応策
				流入量や水質変化時の対応 (異常流入・流入水質異常等)	水質・水量変動に対する認識と、変動時の具体的な対応方法
				有効利用や埋立基準に	シアン、クロムの管理方法、

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	期待する評価内容の例
				適合した汚泥処理	汚泥処理・汚泥減量化の考え方
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は施設の管理を委ねるのに適切か。	⑥ 定期点検・軽微な修繕	100	適切な日常点検と定期点検	日常点検、定期点検の内容、具体的な計画
				予防保全の考え方、維持管理データの蓄積と活用	予防保全の考え方、具体的な方策や実施体制、維持管理データの具体的な活用策
	安全、防犯、環境等に配慮した計画となっているか。	⑦ 環境への配慮	40	軽微な修繕の実施手続き、修繕先の選定方法	軽微な修繕の具体的な実施手続き（市との連携方策、実施内容の判断方法、実施体制等）、外注の考え方
				安全・防犯等への取り組み、臭気の低減化、環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）、省エネ	市の取り組みを踏まえた上で、受託者としての具体的な取組内容
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する対応体制は適切か。	⑧ 緊急時の体制、リスク項目と対応策	100	事故、故障、災害時の緊急時対応、会社全体としてのバックアップ体制	緊急時に確実に対応するための準備や体制、緊急時のバックアップ体制
				災害、故障等の具体的な対応策	災害、故障等の発生時における具体的な対応策
				緊急時のマニュアル整備、定期訓練	緊急時に備えた取り組みの具体的な内容
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	⑨ 優れた提案	50	応募者の創意工夫による追加的な提案、地域活性化や、本事業に対する高度な提案	その他、市のニーズを踏まえた有効な提案
合計			600		

## ②加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点)×1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点)×0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点)×0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点)×0.0

以上